

# 【第1学年】児童の課題及び授業改善策

＜平成28年度＞

	児童の課題	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆相手の話を最後まで聞き、質問するなどやりとりする力を付ける必要がある。</li> <li>◆音読では、しっかりと声を出して読むことに課題がある児童もいる。</li> <li>◆言葉を正しく表記することに苦手意識をもつ児童が多く、個別支援が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○対話する時間を繰り返し設定し、めあてに沿って話をさせる。</li> <li>○国語や朝音読の時間を生かし、継続して指導していく。</li> <li>○ノートやプリントに文を書く活動を多く設定するなど繰り返し指導を行うことで定着させる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆加法減法について、正確に計算することが難しい児童があり、習得への個別支援が必要である。</li> <li>◆文章題の意味を正しく捉え、立式することが難しい児童への支援が必要である。</li> <li>◆時計を正しく読むことが困難な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○算数ブロックを操作する活動を入れたり、繰り返し問題を解いたりすることで習熟を図る。</li> <li>○問題文の言葉や文章を手がかりに図をかき、立式し、課題を解決させる。</li> <li>○該当する単元だけでなく、日常生活の中で繰り返し指導していく。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆動物や植物に触れる機会が少ないため、生き物と触れ合い、草花に興味をもって世話をする経験をさせる必要がある。</li> <li>◆家庭の中で自分の役割に進んで取り組むことに課題があり、家庭と連携を図りながら支援していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校庭の草木などの学校にある自然環境や、生活科見学で行く公園の自然環境を生かし、生き物や植物に慣れ親しむ活動を多く取り入れる。</li> <li>○学習の中で自分が家族の一員としてどのようなことができるか考える場を設定し、家庭にも協力してもらう。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆リズムや音程などがあいまいになっていることがある。</li> <li>◆鍵盤ハーモニカの運指に関する指導をより進める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音をよく聴くように指導するとともに階名による模唱やリズム打ちに親しみながら音程感やリズム感を付けていく。</li> <li>○うまく出来ない児童に個別に指導する時間を設ける。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆のりやはさみなどの用具の使い方に慣れていない児童への手立てが必要である。</li> <li>◆自由に描く、作るというテーマに対して、課題を決めることが難しい児童への支援が必要である。</li> <li>◆絵の具の分量や色の混ぜ方の調節に課題をもつ児童への支援が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○用具の扱い方に関する基本的なルールと技能を身に付けさせる。</li> <li>○作品として完成させることを目的とせず、制作過程を楽しめる活動を多く取り入れる。</li> <li>○教師が手本を見せることで安心して取り組めるように手順を示す。</li> <li>○友達の作品を見る学習を取り入れ、鑑賞を楽しく行う。</li> <li>○絵の具を使う活動を多く設定し、繰り返し指導する。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆体を動かすことが好きな児童が多い一方、少し運動しただけで疲れてしまう児童がいるので、体力の向上を図る必要がある。</li> <li>◆ルールを守ったり、友達と仲良く取り組むことを課題とする児童が多く、個別支援が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○遊具遊びなどを通して基礎感覚を養うとともに、あらゆる領域で力いっぱい活動する中で体力の向上を図っていく。</li> <li>○ゲーム的な運動を取り入れ、ルールを守ってグループのメンバーが協力することで楽しく活動できる経験をさせる。</li> </ul>

# 【第2学年】児童の課題及び授業改善策

＜平成28年度＞

	児童の課題	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆相手の話を最後まで聞き、質問するなどやりとりする力をさらに付ける必要がある。</li> <li>◆音読では、しっかりと声を出して読むことが出来る児童も多いが、個人差が見られる。</li> <li>◆主語・述語の正しいつながりで文章を書く自分で文章を振り返ることに課題があり支援が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習時間の中で話すこと・聞くことの活動を多く設定し、基本的な力を付けさせていく。</li> <li>○国語や朝音読の時間を生かし、今後も指導していく。</li> <li>○ノートに文を書く場面を多く設定するなど繰り返し指導を行う。また、百字帳等を利用し、日常的に書く活動を取り入れる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆加法・減法にて繰り返し計算練習に取り組み全体の底上げを図っていく必要がある。</li> <li>◆加法及び減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることの理解について課題があり、丁寧な指導が必要である。</li> <li>◆時刻と時間、長さの測り方に課題があり、また、単位の換算も含め支援が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○算数の基礎・基本を押さえ繰り返し問題を解いたり、個別指導を行ったりしていくことで底上げを図る。</li> <li>○問題文に下線を引かせ、ことばや文章を手がかりに文章を読み取り、立式して課題を解決させることを習慣化させる。</li> <li>○ベーシックドリルの活用等、家庭での既習事項の練習を大切に、繰り返し行うことで習熟を図る。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆動物や植物に触れる機会が少ないため、昆虫と遊ばせたり、草花に興味をもって世話をさせたりする経験をさせる必要がある。</li> <li>◆体験したことを自分なりの考えを入れて、紹介したり、発表したりする指導が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ピオトープや校庭の草木などの学校にある自然環境や生活科見学で行く公園の自然環境を生かし、生き物や植物に慣れ親しむ活動を多く取り入れる。</li> <li>○生活科見学の際のマナー、社会生活上の態度を養う。</li> <li>○作文や発見カードを書くことによって、言葉や絵で表現する活動を多く取り入れておく。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆歌唱に対する関心・意欲は高いが、さらに意欲的に取り組ませるための工夫が必要である。</li> <li>◆鍵盤ハーモニカの運指に関する指導をより進める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今月の歌・歌集を多く活用していき、一人でも歌えるくらいの自信を付けさせていく。</li> <li>○児童の実態に応じた個別指導を行い、出来るようになったことを褒めて意欲をさらに高めていく。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆楽しく描いたり、作ったりすることができている。自由で豊かな発想を、無理なく自然にできるための指導方法を工夫する必要がある。</li> <li>◆絵の具、のり、はさみ等の用具の使い方に慣れていない児童への支援が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が楽しみながらイメージを膨らませる教材を準備し、その提示方法を工夫することで関心・意欲を高める。</li> <li>○友だちの作品を鑑賞し合うことで、より多くの発想ができるように指導を工夫する。</li> <li>○絵の具や様々な道具の使い方の指導を行い、多様な経験をさせる。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆体を動かすことが好きな児童が多いが鉄棒等にぶら下がったり、上ったりすることやマット運動を課題としている。遊具等を活用し、体を動かす経験を設定する。</li> <li>◆ルールを守ったり、友達と仲良く取り組むことをさらに身に付けさせていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○遊具遊びや鬼遊びなどを通して、基礎感覚を養えるようにする。児童の成長を認め、さらに伸ばしていけるようしっかりと見取りを行う。</li> <li>○ゲーム的な運動を取り入れ、ルールを守ってグループのメンバーが協力することで楽しく活動できる経験をさせる。</li> </ul>

# 【第3学年】児童の課題及び授業改善策

＜平成28年度＞

	児童の課題	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分の経験したことや考えたことについて話したり聞いたりする力に個人差があり、苦手な児童への指導が必要である。</li> <li>◆既習の漢字の使い方の定着を図る指導をさらに行う必要がある。</li> <li>◆文章力に個人差があるので、苦手意識の強い児童には個別の支援が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○対話やグループで話し合う場を意図的に計画的に設定し、自分の考えを話したり、相手の考えを聞いたりする機会を増やす。</li> <li>○朝の会などの場で、継続的にスピーチ(グループ)に取り組む。</li> <li>○漢字学習ノートの活用や、小テストを繰り返し行い、漢字習得の定着を図る。</li> <li>○教科書の音読と漢字の練習を宿題として毎日取り組ませる。</li> <li>○スキルアップタイムなどで、質問力を育てる。</li> <li>○自分の考えを整理して分かりやすく伝えるために、書きたいことを明確にもつことや「はじめ・中・おわり」の文章構成で書く方法を繰り返し指導する。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆資料を読み取り、活用する能力に個人差があり、苦手な児童への支援が必要である。</li> <li>◆自分の生活と社会のつながりを実感することに課題があり、個別支援が必要である。</li> <li>◆地域とのつながりが減少している実態から、つながりを大切に学習内容を意図的に設定していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○具体的な地図の活用の仕方や資料を読み取り方法について指導する。</li> <li>○社会科見学や地域の人へのインタビュー活動など地域に出る活動をより多くさせる。また地域ボランティアも効果的に活用していく。</li> <li>○学習のまとめを新聞や発表など工夫させ、交流する。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆発言が多い児童だけではなく、なかなか発言ができない児童も活躍ができる工夫が必要である。</li> <li>◆自分の考えや意見を表現することに個人差が見られ、苦手な児童への個別の指導が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○できるだけ多くの児童に発言の機会を与え、児童相互の考えを交流する機会を多くし友達の考えを聞き、整理して表現する力を伸ばす。</li> <li>○ベーシックドリル等を毎週一回必ず取り組み反復的な学習を通して、計算力の定着を図る。</li> <li>○理解を深めるために絵や図、数直線を活用する等、算数的活動を積極的に取り入れる。また数直線の利点を理解させ積極的に活用しようとする姿勢を育てる。</li> <li>○個別指導が必要な児童へは、個別の課題を明確にし学生ボランティア等を活用し、理解を深めさせる手立てとする。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆身近に見られる動物や植物の観察をする際に、細部までじっくり観察することに課題がある。比較しながら調べたり、疑問をもって課題解決していったりする経験を意図的に設定していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観察の視点、表現の仕方や実験方法などの基礎・基本の定着を図る。</li> <li>○ノート指導などを通して探求の過程の流れを身に付けさせる。</li> <li>○体験活動を多く取り入れるとともに、映像、写真等の視覚教材を活用することによって解決への手だてとする。</li> <li>○家庭と協力して動植物を飼育・栽培するなどの体験を豊かにする。</li> </ul>
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自ら課題を設定する力や、課題解決の見通しをもつ力が十分でない。それらの力を高めるための具体的な指導が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○積極的に地域に出るなど体験的な活動を多く取り入れることで、意欲的に取り組む工夫をする。また地域ボランティアを積極的に活用していく。</li> <li>○事前に計画を立てる等の学習方法や資料の収集方法、結果をまとめ、発表する方法などを丁寧に指導する。</li> <li>○社会、理科、国語との関連学習を多くし、時間に余裕をもたせることにより主体的に学ぼうとする姿勢を育てる。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆意欲的に楽しく活動に取り組んでいる児童が多いが、表現の仕方を自分から考え工夫したりすることのできる児童は、まだ少ない。</li> <li>◆リコーダーの興味・関心が高く、意欲的に取り組んでいるが、タンギング・運指の十分でない児童への指導が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人の表現を認め、よい意見や表現の工夫を紹介し、全体に広げ互いに学び合い高め合えるような指導の工夫をする。</li> <li>○思ったことや感じとったことは、比べ合ったり、発表し合ったりし、自分と他とを比較・共有できるような学習活動の工夫をする。</li> <li>○リコーダーでは、児童の実態に応じた個別指導と、反復練習を行い、ペア学習、グループ学習など互いに教え合う場の設定をする。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆表現活動を楽しむことができる。友達の作品を見たり表現の工夫をしようとしたりする意識が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な体験ができるよう題材を工夫する。</li> <li>○より主体的に活動できるよう、道具、材料の使い方の定着を図る。</li> <li>○友達と作品を見合い、お互いのよいことなどを伝え合い、創作意識を高めるようにする。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆技術を習得するために考えたり、工夫したりすることが苦手な児童が多く、具体的な手だてが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な技術を指導し、友達同士で教え合う活動を取り入れる。特に、ゲーム型ボール運動では、チームでの話し合いの時間を設定し、技術や思考を共有できるようにする。</li> <li>○個人カードやチームカードの活用によりポイントを明確にし、手だてとする。</li> </ul>

# 【第4学年】児童の課題及び授業改善策

＜平成28年度＞

	児童の課題	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分の考えをもつことはできるが、それを明確になるように語と語や文と文に気を付け、つながりのある文や文章を書く力が必要である。</li> <li>◆自分の思いや考えをもち、適切に話すことに課題があり、個別支援が必要である。</li> <li>◆漢字の書き取りでは送り仮名の間違えなどが目立つため、繰り返しの学習が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○題材を明確にし、それに必要な情報を集め書く練習を多く取り入れる。また上手に書くことができる児童の作品を読み合うことを意識的に取り入れる。</li> <li>○国語科の学習を通して対話の基礎的な力を身に付けるとともに、他教科や道徳等の場においても話し合う機会を設定する。</li> <li>○漢字は全員が確実に読めるように反復練習を行う。定期的に漢字の習得状況がチェックできるようミニテスト等を実施する。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆資料を読み解く力に課題があり、資料から自分の考えを出せるようにしていく指導の工夫が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調べ学習カード、新聞作りを行い、コラムなどの感想欄を設定し、自分の考えを表現できるようにする。</li> <li>○授業の中で資料の読み方を一つ一つ丁寧に指導する時間を設ける。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆課題を理解するために支援を必要とする児童への指導の工夫が必要である。</li> <li>◆図形分野で、教具の使い方に支援を必要とする児童がおり、個別支援が必要である。</li> <li>◆基礎的な計算力を身に付けるために、個別支援を中心に、全体での底上げが必要である。</li> <li>◆量と測定の領域で理解が弱いため、誤ったとらえ方をしないようにするための工夫が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童同士の意見交換を積極的に行うことで、多角的に問題を考える力を育てるとともに、理解を深める場とする。</li> <li>○実物投影機などを活用し、教具の使い方を丁寧に指導することで教具の有効性を理解し積極的に活用しようとする姿勢を育てる。</li> <li>○個別に指導できる機会（例：放課後チャレンジ教室）を活用する。また、繰り返し問題を解くようにする。（プリント、家庭学習）</li> <li>○ICTを活用したり、体験活動を多く取り入れ、わかりやすい授業をすることと、ベーシックドリルやプリントを使用し、反復練習を多く取り入れる。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆実験・観察を通して解決していく科学的な考え方に課題があり、支援が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観察の視点、表現の仕方や実験方法などの基礎・基本を押さえる。</li> <li>○課題→予想→実験観察→結果の流れで学習するよう指導する。</li> </ul>
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自ら課題を見付け、さらに追求する力を育てる活動が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題解決に向けた学習の取り組みに、見通しがもてるようなアドバイスや資料提供を行っていく。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆楽しく主体的に取り組んでいる児童が多いが、活動意欲を更に高めていく必要がある。</li> <li>◆技能面に個人差があり、個別支援が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の中で互いに表現のよいところを発表させ、学び合い高め合う学習活動を取り入れるようにする。苦手意識のある児童には、できるようになったことを評価し、次の段階への意欲を持たせるようにする。</li> <li>○スモールステップによる個に応じた指導パターンを用意し、継続した指導を行う。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆活動することに意欲的な児童が多いが、学習のめあてを意識して取り組むことが難しい児童には個別に指導に当たる必要がある。</li> <li>◆いろいろな用具を取り入れ表現の工夫する意識を高めたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な体験ができるよう題材を工夫する。</li> <li>○道具、材料の使い方など基礎的な内容の定着を図る。</li> <li>○自分の作品や友達の作品のよいところについて話をする活動を取り入れる。</li> <li>○発想をメモしたり、活動の振り返る活動を意図的に作ったり、計画的に活動する力を培う。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆健康・安全上、配慮を要する児童がおり、指導の工夫が必要である。</li> <li>◆めあてに向けて地道な努力が必要な取り組みに対して、粘り強さや体力的な面で個人差があり、指導の工夫が必要である。</li> <li>◆運動に苦手意識をもっている児童も多く、授業の組み立てに工夫が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康・安全の意識を高め、運動を見守り、ルールを守って行動できるようにする。</li> <li>○児童一人一人が、自分に合っためあてをもてるような学習資料の提供を行い、楽しく継続して運動できるようにする。</li> <li>○意欲的に参加できるように運動の場を工夫する。</li> </ul>

# 【第5学年】児童の課題及び授業改善策

＜平成28年度＞

	児童の課題	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆話し合いに対しては、前向きに取り組む児童が多く、自分の考えを述べることもできている。相手に分かってもらえるような言い方、相手の意図を考えて聞く力が課題として残る。</li> <li>◆自分の考えを明確にし、目的や意図に応じて文章を書くことに苦手意識をもつ児童が多い。</li> <li>◆漢字学習では、丁寧さに欠ける児童が目立つ。また、漢字テストでは書き取りができて、学習した字を使っていないことも多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話し合いや交流の場、スピーチを積極的に取り入れる。話し方や聞き方などのモデルを示しながら全員が意欲的に対話できるようにする。</li> <li>○音読練習を積極的に取り入れ声を相手に届けることの大切さに気付かせる。</li> <li>○様々な学習の場面で書く機会を多く取り、書くことに慣れさせる。児童相互で読み合ったり、上手に書けている児童の文章を例示したりすることを通して、書き上げる文章のイメージをもたせる。</li> <li>○丁寧に書くように、日頃から声掛けを行っていく。日々の家庭学習の中でもそのような習慣を身に付けさせていくよう、家庭とも連携を図っていく。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地図や統計資料の読み取りはおおむねできている。読み取ったことから考えをさらに深めていく力を身に付けさせたい。</li> <li>◆身の周りや世の中の社会情勢に関する興味関心に個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地図や統計資料をより深く読み取らせ、グループや少人数、学級全体などで話し合うことで課題を解決していくようにしていく。問題解決型の授業を行っていくようにする。</li> <li>○日頃から地図を見ること、世の中の動きを知るためにニュースや新聞などに目を向けることを働きかける。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆個人差が大きい。考えるもとなる基礎的な力が不足している児童もあり、個別指導などで力を付けていく必要がある。</li> <li>◆問題を解決するために様々な方法、数直線や図の有効性を理解させるための指導を多く取り入れる必要がある。</li> <li>◆東京ベーシックドリルの結果から、わり算の計算、面積の求め方、角度の3つが正答率が低かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○習熟度別のグループで学習し、個に合った指導を行う。支援を必要とする児童は放課後チャレンジ教室を活用し、個別に課題を与え学力の定着を図る。</li> <li>○数直線や図を積極的に活用させ問題を解決する有効な手段であることを知らせる。また、話し合い活動を多く取り入れ、様々な考えがあることに気付かせていく。</li> <li>○朝学習の時間に、東京ベーシックドリル等を用いて、苦手な領域について繰り返し学習していくようにする。特に、計算問題については繰り返し学習することで慣れさせるようにしていく。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆観察や実験には意欲的に取り組むが、予想と結果を結びつけて考察する力、まとめていく力には課題が残る。</li> <li>◆基礎的・基本的な知識の習得が不十分な児童がいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観察や実験を行う際には、その目的を明確にして行うようにする。また、結果からわかることを丁寧にまとめていくようにする。</li> <li>○ノートやプリントなどを使って復習をし、知識の定着を図っていく。</li> </ul>
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自らの課題を設定できるが、課題を追究する力が十分ではない。課題追究の方法を具体的に指導していくことが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人に具体的なめあてをもたせる。また、調べ方やまとめ方については、具体例をあげるとともに、よくまとめている児童のものを紹介するなどして指導していく。個に応じてアドバイスもしていく。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆課題に対して真面目に取り組む意欲もある。主体的に課題を見付ける力をさらに高めたい。</li> <li>◆技能面において個人差があり、苦手な児童への個別指導が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表現力、鑑賞力向上の為、一人一人「考え工夫する」具体的なめあてをもたせると共に、学習の中で互いの表現の工夫や良いところを発表し合い、学びあい高め合う学習をさらに取り入れるような指導の工夫を行う。</li> <li>○個に応じた指導を継続して行う。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆構想をたて、見通しをもつ力を身に付けるための指導の工夫が必要である。</li> <li>◆基本的な技能がまだ十分に身に付いていない児童があり、安全に配慮した個別支援が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達の活動を見合う時間を取り、お互いのよい点を見付け、話し合う活動を積み重ねる。</li> <li>○クロッキー帳や学習カードを工夫して、計画を立てたり、見直しをもったりする指導をする。</li> <li>○用具や道具の扱いなど必要に応じて個別指導し安全で適切に学習に生かせるようにする。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆調理や裁縫の実習に興味をもって取り組んでいるが、ミシン縫いをはじめとする技能面での差がある。技能習得のための個別支援が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個別支援を充実させ、丁寧に分かりやすく指導していく。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆運動に対する意欲や苦手意識に個人差が大きい。特に、ボール運動や器械運動など苦手な児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習のめあてを明確にしていくとともに、運動のポイントなども例示し、学習を進めていく。学習カードなども取り入れていくようにする。児童の運動量が確保できるよう、活動の場やチームの構成などを工夫していく。</li> <li>○運動の特性に応じた動きを指導したり、友達同士で教え合う活動を取り入れたりする。</li> </ul>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆繰り返し話すことで外国語でコミュニケーションを楽しむ児童が増えてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が進んで発話する活動を取り入れるよう、ALTと連携を図る。</li> <li>○アクティビティを充実させ、児童がコミュニケーションを図る機会を多く設定する。</li> </ul>

# 【第6学年】児童の課題及び授業改善策

＜平成28年度＞

	児童の課題	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆漢字の読み書き、音読等、基本的な技能は概ね身に付いている児童が多いが活用する力を高めていく必要がある。</li> <li>◆自分の考えをもつことができる児童は多いが、書いたり話したりする力を高めていく必要がある。</li> <li>◆読書を好む児童は多いが、語彙力を高め、言語への関心を高める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○書くことを意図的に計画的に設定し、日常的に文章や言葉で表現する機会を増やす。</li> <li>○ペアやグループでの交流、対話を多く取り入れ、話し合う場面を取り入れた授業を行う。</li> <li>○隔週火曜日に実施する対話カタイムの取り組みでは、新聞記事を活用し、世の中のできごとに関心をもったり、グループで対話することに慣れさせたりする。</li> <li>○言語事項やことばのきまりなど多面的に指導し、適切に使えるようにする。</li> <li>○マイブックを推奨し、いつでも本が読める環境を整える。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆資料を活用しながら、深く探究しようとする力に課題があり、具体的な指導の手立てが必要である。</li> <li>◆歴史分野については興味をもって学習する児童が多いが、公民分野については個人差が大きい。教材の工夫を図るなど、児童の関心を高める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料を複数提示し、資料から分かる事実とそこから考えられることを丁寧に読み取っていく指導を行う。</li> <li>○グループや少人数、学級全体などで話し合うことを明確にし、課題解決につなげさせる。</li> <li>○児童にとって身近な問題と捉えることができる教材を取り扱う。</li> <li>○新聞記事を活用し、調べたり自分の考えをもったりする活動を多く取り入れ、児童の関心を高める。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆二つの数量関係や割合の理解を深めるための指導の充実が必要である。</li> <li>◆全国学力調査の結果から、与えられた条件を基に筋道を立てて考える力や、自分の考えを言葉で表現する力を高める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ベーシックドリルや学習プリント等を活用し、習熟を図り、理解をさらに深める。</li> <li>○数直線が問題を解決するために有効な手段の一つであることを指導し、数直線のかきかたや読み取り方の時間を多く取り入れる。</li> <li>○自分の考えを言語化する活動を意図的に取り入れ、様々な考えがあることを知るとともに、理解を深めさせる。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆実験や観察に意欲的に取り組めるが、観察・実験の結果から考察する力を高める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実験や観察の目的を押さえ、観察や実験の結果を整理して考察する手順を示し、自分の言葉でまとめる力を付けていく。</li> <li>○各単元を通して、重要な用語・内容について既習事項を振り返りながら、丁寧に指導を行う。</li> </ul>
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自ら進んで課題設定をし、解決しようとする意欲が十分ではない。課題設定や課題追究の方法を具体的に指導していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題設定にあたっては児童の興味・関心等に基づく課題、横断的・総合的な課題、地域や学校の特色に応じた課題などから設定し、学習への意欲を引き出す。課題追究の仕方を提示するとともに、協同学習や体験活動など様々な学習形態を取り入れて学習する。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆課題に対して真面目に取り組む意欲もあるが、領域によって取り組みへの意欲に差がある。</li> <li>◆精神的、身体的発達の影響もあり、表現することをはずかしいと感じ表現活動に消極的になってしまう児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どの領域も、楽しく学習ができるよう、一人一人に具体的めあてをもたせると共に、互いの表現の工夫や良いところを発表し合い、学びあい高め合う学習をさらに取り入れるような指導の工夫を行う。</li> <li>○互いの良さを認め合い、集団としての力を大きくしていけるようにする。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆発想や構想を練るまでに時間を要する児童が多い。</li> <li>◆見通しをもって活動したり、構想を立てて計画的に活動したりすることへ、指導の工夫が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個々の児童の進度に合わせて支援する。</li> <li>○活動を見取り、よい点をできるだけ早く評価する。</li> <li>○友達と活動を見合い、よい点を見付け、伝え合う活動を積み重ねる。</li> <li>○クロッキー帳や学習カードを工夫して、毎時の活動を細かく評価していく。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆実習には意欲的だが、家庭生活と結び付けて考えたり、実践しようとしたりする意識を高める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常生活に役立つような実習を多くし、具体的に考えたり、楽しく実践できるようにしていく。</li> <li>○必ず役割をもって実習に参加させる手だてを工夫し、一人一人の意欲を喚起する。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆体を動かすことは、多くの児童が好きであるが、めあてをもち、練習の場の工夫をしたりゲームのルールを工夫しようと考えたりする意識を高める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループ学習を適宜取り入れ、学び合い、高め合う学習場면을積極的に設定する。</li> <li>○チームや自分のめあてを明確にして主体的に運動できるようにする。</li> <li>○学習カードを作成し、学習を振り返られるようにする。</li> </ul>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆興味をもって繰り返し練習することにより、日常生活の中でも発話できるようになってきている。</li> <li>◆外国語を使った交流場面では、積極的にコミュニケーションを図ることを苦手とする児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○さらに児童が興味をもって取り組めるよう、アクティビティやゲームの工夫を取り入れていく。</li> <li>○ALTとの事前打ち合わせを充実させ、児童が失敗を恐れずに楽しみながら交流できるアクティビティや環境をつくっていく。</li> </ul>